

学習内容報告書 フォーマット

| | |
|-----|--------------------------------------|
| 学校名 | 世田谷区立用賀中学校 |
| 授業者 | 藤井徹平、瀬戸広文、武藤純輝、宇野慎吾、斉藤昭徳、佐久間美幸、酒井勇太郎 |

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

環境について学ぶ

1-2. 学年

2 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合

1-4. 単元の概要

環境破壊が叫ばれる現在、様々な環境について知り「持続可能な社会」について自ら学習し、課題を見つけ考えることができるように生徒に学ばせる。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

この社会には様々な環境があるが、都会に住む生徒たちにとって一番遠いのが海洋である。最近海水浴も日焼けが嫌われ下火になりつつあり、海洋環境に関する興味関心の低下がみられる。

第2学年総合では、職場体験の準備を行うが第2学年はコロナ禍で職業体験が中止になり代わりにSDGsについて調べ学習から、発表を行った。

また、第2学年では理科の分野で動物を学ぶため、海洋プラスチックが非常に悪影響を及ぼすジンベイザメを導入として海洋環境について学んだ。そして、職業について学ぶ機会が少ないため、漁業関係者や食品関係者等の職業について学ばせることも設定した。

最後に、保健体育の授業とタイアップして、下水道について学ぶ機会を設け、海洋環境保全が決して他人事ではないことを学んだ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

専門家の講話を積極的に聞き、それをきっかけに自分の問題としてとらえ、自ら課題を見出し、解決していこうとする生徒を育成する。

1-7. 単元の展開（全 18 時間）

| 時数 | 学習活動・主な内容 | 教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等 |
|-------------|--|--|
| 1 | 夏休みに興味のあるSDGsについて調べておくように宿題。 | |
| 2 ～ 5 | SDGs新聞の作成 必ず、選んだ理由と自分で調べたこと感想を書く。 | 調べが少ない生徒へのフォロー |
| 6・ 7 | ・クラス内発表 投票で素晴らしい発表をした生徒の投票 | |
| 8 | ・学年発表 | ・PDFファイルに変換しプロジェクターでスクリーンに投影。 |
| 9 | ・教員が撮影した海や海岸の映像を見て、環境について理解を深める。 ・理科の時間に魚類について学んだことや、海洋プラスチックについて知っていることを書き出し整理をする。 ・次の時間の予告 大阪の海遊館の方が講師としてZOOMで授業を行う事を伝え、質問したい事についてまとめておく。 | ・指導：生徒の知識を引き出す。 評価：積極的に取り組めたか。 |
| 10 | 1 講話 ・海遊館のご紹介 ・ジンベンザメの大きさとエサなど生態について ・ジンベイザメから考える海洋プラスチックについて ・海遊館と大阪の中学生が行っている海洋プラスチック削減活動について ・質疑応答 | 外部連携：日本財団、大阪「海遊館」の皆さま 教材：WiHi、PC、プロジェクター、巻き尺（ジンベンザメの大きさを体感） |
| 11 | ・まとめ 学んだことをまとめる ・お礼状の作成 | ・指導：海洋プラスチック問題について理解が深まるように指導する。 目上の方へのお礼状の書き方 |
| 12 | ・理科の時間に魚類について学んだことや、漁業について知っていることを書き出し整理をする。 ・次の時間の予告 | ・指導：生徒の知識を引き出す。 評価：積極的に取り組めたか。 |

| | | |
|----------|---|--|
| 13 14 | <p>1 講話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚と鰹節についての講話 ・体験 <ul style="list-style-type: none"> ① カツオの1本釣り ② 鰹節削り ③ 出汁の試飲 | <p>外部連携：アイ環境研究所の方</p> <p>教材：パワーポイント、生のかつお、1本釣り用釣り竿、鰹節、削り器、だし汁（鰹節出汁、昆布出汁）</p> |
| 15 | <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ 学んだことをまとめる ・お礼状の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導：鰹節等漁業について理解が深まるように指導する。 <p>目上の方へのお礼状の書き方</p> |
| 16 | <p>下水道について。現在知っていることや、学びたいことを書き出し整理する。</p> | |
| 17 18 | <p>下水について、外部講師の講演を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水の歴史 ・水をきれいにする原理 ・トイレットペーパーの種類と変化 ・下水道の種類 ・海洋と下水道 ・下水道にとって避けたいこと | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な下水が海への入り口であることを意識させ、学ばせる。 |
| 次年度 | <p>ジンベンザメを実際に見学するため、5月の関西の修学旅行で海遊館を訪問する予定。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の準備で海遊館について事前調査する。 |

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 1 3 ・ 1 4 時間中の 1 3 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

・魚食について学ぶとともに日頃の食生活を振り返る。

2-3. 本時の展開

| 主な学習活動 / 反応 | 教師の指導・支援 / 評価の視点（方法） |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・講師の方のお話<ul style="list-style-type: none">・漢字の魚の形から日本は昔から魚を食べていた。 （魚という感じは釣り上げた魚の形）・牛・豚・鳥は人間より体温が高いため、脂肪が人間の体内では固化してしまう。それに対して、魚は水温が 15℃程度なので魚油は体内で固まらない。そのため、体に良い。・古代から日本人は魚を保存するために様々な工夫をしてきた。・鰹節の製法 水分を抜くことにより保存に適するようになった。なおかつ、カビを付けることにより味に深みが出た。・日本の食生活の大切さを再認識しよう。・漁業関係者の今日の状況と私たちができること <p>体験</p> <ul style="list-style-type: none">① 鰹の 1 本釣り体験② 鰹節削り体験③ 出汁の試飲(合わせ出汁による味の変化の体験) | <ul style="list-style-type: none">・講師紹介 <p>体験については必要時間に差があるので、指示者が時間配分を注意しながら生徒を移動させる。</p> <ul style="list-style-type: none">・釣り体験は、補助が必要・鰹節の削り体験は、持ち方に注意をしけがをしないようにさせる。 |

3. 今回の活動の自己評価

・講義を聞き、自分たちの生活を変化させることができたか。
・SDGs 14 がより深く理解できたか。

4. 今後の課題

- ・都心部であり海に近くない環境の生徒たちが、今後も海洋環境保全に意識して取り組むことが継続できるか。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・外部講師をお招きするにあたっての、日程調整。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。